

関連単元名	わたしたちの市の 歴史探検	展示コーナー	A	相馬野馬追
		資料名	神旗争奪戦ジオラマ 野馬追諸道具、野馬追懸の諸道具	

近代の野馬追

明治時代の廃藩置県により中村藩は消滅し、放牧されていた馬も狩り尽くされたため、藩の行事として、または野馬を追う形態の行事はできなくなった。そこで野馬追は三社（中村神社・太田神社・小高神社）の祭りとして行事の形態を改めて執行されることとなった。

現代の野馬追

野馬追は、現在7月23日・24日・25日の3日間にわたり行われる。

7月23日

お繰り出し…中村神社（相馬市）・太田神社（原町市）・小高神社（小高町）でお繰り出しの儀を行い、各神社の神輿を中心に隊列を組み、祭場地である雲雀ヶ原（原町市）へと繰り出す。
宵乗り競馬…雲雀ヶ原にて馬場清めの儀式の後、白鉢巻き・陣羽織・野袴姿の騎馬武者達による競馬を行う。

7月24日

お行列……原町市小川町から雲雀ヶ原祭場地に向けて行列を行う。
甲冑競馬……甲冑を着装し、背に指旗を指した騎馬武者による競馬。
神旗争奪戦…中村神社・太田神社・小高神社の神旗が、計20発の打ち上げ花火で打ち上げられ、落ちてくる神旗を騎馬武者が鞭で奪い合う。中・近世に行われていた野馬を追う行事ができなくなったため、代わりに行われるようになった。

7月25日

野馬懸……騎馬武者たちが、小高神社境内に設置された竹矢来の中に裸馬を追い込み、白装束の「御小人」たちが素手でその馬を捕らえ神に奉納する行事。江戸時代の野馬追の形態を唯一残している行事。



神旗争奪戦ジオラマ

7月24日、原町市の雲雀ヶ原で行われる。花火で打ち上げられた神旗を騎馬武者たちが奪い合う。



三社の御神旗

神旗争奪戦の際、花火によって打ち上げられる。青が中村神社、赤が太田神社、黄色が小高神社の御神旗である。



野馬懸の諸道具

大たらいには小高神社の御神水を入れ、駒取り竿を浸し、捕らえようとする馬に竿を当てて目印とする。「御小人」と呼ばれる白装束の人達がその馬を素手で捕らえ、神前に奉納する。